

## C 研究発表状況

### I 他誌論文抄録

## 宮城県内の家畜・ペットにおける動物由来感染症原因菌の保有実態

畠山 敬 木村 葉子 矢崎 知子 高橋 恵美  
後藤 郁男 渡邊 節 沖村 容子

公衆衛生情報みやぎ No.406 15-18 2010

動物由来感染症の中でも稀少感染症に属する病原体の実態は明らかでない。そこで、県内の家畜・ペットを対象にウルセランス菌とブルセラ菌の抗体保有状況及びパスツレラ菌の保有実態を調査した。結果として、ウルセランス菌は豚で遺伝子が検出されたものの、分離には至らなかった。また、ブルセラ菌抗体の保有率は犬で18.6%と高く、猫6.1%、豚2.0%、ヒト12.7%であった。また、パスツレラ菌は犬で9.4%、猫で41.2%が保菌しており、子猫も19.1%が菌を保有していた。

## Detection of Sapovirus in oysters

Yo Ueki, Mika Shoji, Yoko Okimura, Yasuko Miyota, Yoshifumi Masago<sup>1</sup>, Tomoichiro Oka<sup>2</sup>, Mamoru Noda<sup>3</sup>, Takayuki Miura<sup>4</sup>, Daisuke Sano<sup>4</sup>, Tatsuo Omura<sup>1</sup>, Kazuhiko Katayama<sup>2</sup>, Naokazu Takeda<sup>2,1</sup> Department of Civil and Environmental Engineering, Graduate School of Engineering, Tohoku University, Sendai, <sup>2</sup>National Institute of Infectious Diseases, Tokyo, <sup>3</sup>National Institute of Health Sciences, Tokyo, and <sup>4</sup>Division of Environmental Engineering, Faculty of Engineering, Hokkaido University, Sapporo, Japan

Microbiology and Immunology, Volume: 54, Issue: 8, Pages: 483-486 2010

Sapovirus (SaV) sequences that were either genetically identical or similar were detected from oysters, feces from gastroenteritis patients, and domestic wastewater samples in geographically close areas. This is the first report of the detection of SaV from an oyster that met the legal requirements of Japan for raw consumption.

## 伊豆沼のヒシの栄養塩吸収・溶脱特性を利用した栄養塩濃度制御方法の提案

渡部 正弘 小山 孝昭 佐々木 久雄

水環境学会誌 Vol.33 No.5 57-61 2010

伊豆沼の水生植物特に浮葉植物ヒシを用いた栄養塩の吸収・溶脱を検討した。栄養塩の吸収試験では、伊豆沼における夏季のヒシは周辺の底質から溶出する栄養塩の大部分を吸収していると推定された。また、溶脱試験では、水生植物の分解過程で窒素が溶脱して $\text{NH}_4\text{-N}$ 、 $\text{NO}_2\text{-N}$ 、 $\text{NO}_3\text{-N}$ へとすみやかに変化する傾向が顕著に認められ、伊豆沼での秋から冬の水質変化と同様の現象を示した。伊豆沼においては秋から冬に溶存態無機窒素濃度が高くなることから、人為的な水位低下による栄養塩排出試験を行い、この時期の急激な水位低下操作は水生植物から溶脱した栄養塩を効果的に池沼から排出できる有効な方法であることがわかった。

## Ⅱ 学会発表等

# 学 会 発 表 等

○印 発 表 者

## 宮城県内の家畜・ペットにおける動物由来感染症原因菌の保有実態

○畠山 敬 木村 葉子 矢崎 知子 高橋 恵美 後藤 郁男 渡邊 節 沖村 容子  
宮城県公衆衛生学会 平成22年7月1日 仙台市

## カキを用いたサポウイルスの環境調査

○植木 洋 高橋 由理 阿部 美和 佐藤 由紀 菅原 優子 沖村 容子 岡智 一郎\*1 片山 和彦\*1  
野田 衛\*2 真砂 佳史\*3 大村 達夫\*3  
(\*1 国立感染症研究所 \*2 国立医薬品食品衛生研究所 \*3 東北大学大学院工学研究科)  
第18回衛生工学シンポジウム 平成22年7月1～2日 札幌市

## 酵素を用いたカキからのノロウイルス濃縮法の検討

○高橋 由理 阿部 美和 植木 洋 佐藤 由紀 菅原 優子 沖村 容子 野田 衛\*1 真砂 佳史\*2 大村 達夫\*2  
(\*1 国立医薬品食品衛生研究所 \*2 東北大学大学院工学研究科)  
第58回日本ウイルス学会学術集会 平成22年11月7～11月9日 徳島市

## 生食用鮮魚介類等におけるヒスタミン産生菌に関する調査

○宮崎 麻由 中居 真代 有田 富和 那須 務 渡邊 節 沖村 容子  
第31回日本食品微生物学会学術総会 平成22年11月11～12日 大津市

## 東北地方で発生した腸炎ビブリオ O3:K6 株の網羅的解析

○有田 富和 宮崎 麻由 中居 真代 那須 務 渡邊 節 沖村 容子  
第44回腸炎ビブリオシンポジウム 平成22年11月25日 秋田市

## 結核検査に係る結果の解釈と新しい技術の開発

○畠山 敬 矢崎 知子  
平成22年度保健福祉部業務研究等報告会 平成23年2月3日 仙台市

## 布巾の殺菌効果の検討

○那須 務 中居 真代 宮崎 麻由 有田 富和 渡邊 節 沖村 容子  
平成22年度環境衛生技術職員研修会 平成23年2月4日 仙台市

## うなぎ中のマラカイトグリーン検査におけるサロゲート補正問題点

○千葉 美子 吉田 直人 高橋 祐介 氏家 愛子  
平成22年度地方衛生研究所全国協議会北海道・東北・新潟支部衛生化学研究部会総会 平成22年10月14～15日 新潟市

**GC/MS/MSによる魚介類中の残留農薬一斉分析法の検討**

○吉田 直人 千葉 美子 大熊 紀子 氏家 愛子

第 47 回全国衛生化学技術協議会年会 平成 22 年 11 月 11~12 日 神戸市

**宮城県における有害大気汚染物質発生源対策調査**

○佐久間 隆 北村 洋子

第 51 回大気環境学会年会 平成 22 年 9 月 8~10 日 大阪市

**北東部太平洋側における降水中の鉛安定同位体比測定**○北村 洋子 向井 人史<sup>\*1</sup>

第 51 回大気環境学会年会 平成 22 年 9 月 10 日 豊中市

(\*1 (独) 国立環境研究所)

**在来鉄道騒音の測定手法**

○菊地 英男

平成 22 年度騒音制御工学会秋季研究発表会 平成 22 年 9 月 29 日 新潟市

**飛行場周辺地域における WECPNL から  $L_{den}$  への換算方法について**

○菊地 英男

平成 22 年度騒音制御工学会秋季研究発表会 平成 22 年 9 月 29 日 新潟市

**有害大気汚染物質発生源調査及び周辺環境調査**

○小川 武 佐久間 隆 小泉 俊一 小室 健一 北村 洋子 木戸 一博

平成 22 年度宮城県業際研究会 平成 22 年 9 月 30 日 仙台市

**融雪剤の水環境への影響**

○渡部 正弘

環境保全・公害防止研究発表会 平成 22 年 11 月 16 日 さいたま市

### Ⅲ 研究発表会

## 第29回保健環境センター研究発表会

日時 平成23年3月11日(金) 9:00~15:20  
場所 保健環境センター大会議室  
環境情報センター環境学習室

○印 発表者

### セッションⅠ 座長：畠山敬

- 1 平成22年11月12日の黄砂飛来によるSPM高濃度  
大気環境部 ○仁平明 佐藤直樹 中村栄一 菊地秀夫
- 2 粒子状物質濃度からの黄砂の推察  
大気環境部 ○佐藤直樹 仁平明 中村栄一 菊地秀夫
- 3 有害大気汚染物質発生源調査及び周辺環境調査  
大気環境部 ○佐久間隆 小泉俊一 小川武 小室健一 北村洋子 菊地秀夫
- 4 宮城県沿岸域における表層水温のトレンドーダミー変数を用いた重回帰分析による推定ー  
水環境部 ○福地信一 阿部郁子 佐々木久雄 藤原秀一
- 5 廃棄物分析情報迅速検索システム活用最終処分場等水質の状況について  
水環境部 ○秋野正造 藤原秀一

=== 休憩 ===

### セッションⅡ 座長：福地信一

- 6 トータルダイエツトスタヂ試料を用いた魚介類中残留農薬検査の実態調査  
生活化学部 ○高橋祐介 吉田直人 千葉美子 氏家愛子
- 7 動物用医薬品の一斉分析法と問題点  
生活化学部 ○吉田直人 高橋祐介 千葉美子 氏家愛子
- 8 うなぎ中マラカイトグリーン検査における問題点  
生活化学部 ○千葉美子 吉田直人 高橋祐介 氏家愛子
- 9 加工食品に含まれる甲殻類タンパク質検査法の検討  
生活化学部 ○山口友美 高橋祐介 氏家愛子

=== 昼食・休憩 ===

## ポスターセッション (コアタイム)

## 10 食品中のサッカリン検査

生活化学部 ○小野寺由貴子 山口友美 柳茂 齋藤善則 平木恵理 氏家愛子

## 11 石巻地区における多環芳香族炭化水素類の発生源に関する一考察

大気環境部 ○小泉俊一 佐久間隆 小川武 北村洋子 菊地秀夫

## 12 伊豆沼・内沼浄化対策としての堰操作と底質の巻上の検討 (第 I 報)

水環境部 ○渡部正弘 鈴木壽雄 福地信一 藤原秀一

## 13 女川原子力発電所周辺海域における放射性ヨウ素の濃度分布と拡散シミュレーション解析

原子力センター ○木村昭裕 石幡祐士 長山美穂 伊藤節男 安藤孝志 石川陽一

## 14 1991 年以降仙台市内で分離された黄色ブドウ球菌のコアグララーゼ型と毒素型

仙台市衛生研究所 ○駒木望 畠山拓 石田ひろみ 酒井克朗 成田美奈子  
星俊信 勝見正道 小黒美舎子

=== 休 憩 ===

## セッションⅢ 座長：佐久間隆

## 15 管内と畜場でみられた豚サルモネラ症

食肉衛生検査所 ○中田聡 川村健太郎 坂上亜希恵 平塚雅之 谷津壽郎

## 16 生食用鮮魚介類等のヒスタミン産生菌に関する調査 (第 2 報)

微生物部 ○宮崎麻由 中居真代 有田富和 那須務 渡邊節 沖村容子

## 17 夏季に検出される腸炎ビブリオ及びサルモネラの動態について

微生物部 ○後藤郁男 沖村容子

## 18 2010 年手足口病・ヘルパンギーナから検出されたエンテロウイルスについて

微生物部 ○阿部美和 高橋由理 植木洋 佐藤由紀 菅原優子 沖村容子

## 19 酵素を用いたカキからのノロウイルス濃縮法の検討

微生物部 ○高橋由理 阿部美和 植木洋 佐藤由紀 菅原優子 沖村容子  
国立医薬品食品衛生研究所 野田衛  
東北大学大学院工学研究科 真砂佳史 大村達夫



## 編 集 委 員

木 村 泉 (委 員 長) 佐 藤 直 樹 (大 気 環 境 部)

山 下 浩 之 (副 委 員 長) 赤 崎 千 香 子 (水 環 境 部)

石 川 拓 (副 委 員 長) 三 浦 和 樹 (水 環 境 部)

宮 崎 麻 由 (微 生 物 部) 鍵 谷 真 男 (企 画 総 務 部)

大 熊 紀 子 (生 活 化 学 部) 佐 々 木 俊 行 (企 画 総 務 部)

平 木 恵 理 (生 活 化 学 部) 岡 本 留 美 子 (企 画 総 務 部)

宮城県保健環境センター年報 第 29 号  
(平成 22 年度)

---

平成 24 年 3 月

編集発行 宮城県保健環境センター

<http://www.pref.miyagi.jp/hokans/index.html>

〒983-0836 仙台市宮城野区幸町四丁目 7 番 2 号  
電話 022-781-5591(代表)

---